



2016年度

第2四半期決算

投資家様向け説明会

2016年10月27日
オムロン株式会社

EARTH-1 STAGE

発表のポイント

【通期業績】

■ 売上高・営業利益

- ・ 売上高、営業利益ともに現地通貨ベースで期初計画通りを見通す
- ・ 一方、想定為替レートを円高方向に見直し、見通しを下方修正する
(⇒USD/EUR 100/110)

■ 営業外損益

- ・ 保有株式を活用した退職給付信託設定に伴う売却益、バックライト事業の設備減損などが発生するが、±0を見込む

■ 配当

- ・ 純利益は期初計画を下回るが、年間配当額予想は期初計画通り68円を据え置く

目次

1. 売上高・営業利益	P. 3
--------------------	------

2. 営業外損益	P. 16
-----------------	-------

3. 配当	P. 18
--------------	-------

【トピックス】

制御機器事業の成長戦略	P. 20
--------------------	-------

***i*-Automation!**

売上高・営業利益（上期実績）

売上高・営業利益（上期実績）



上期実績

売上高、営業利益ともに円ベースで社内計画比インライン。
売上総利益率は向上しており、稼ぐ力は着実に改善。

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	前年同期比・差	(億円) 前年同期比・差 (為替影響除く)
売上高	4,135	3,716	△10.1%	△1%
売上総利益 (売上総利益率)	1,611 (39.0%)	1,448 (39.0%)	△10.1% (±0P)	±0% (+0.5P)
営業利益 (営業利益率)	330 (8.0%)	259 (7.0%)	△21.5% (△1.0P)	+4% (+0.4P)
当社株主に帰属する 四半期純利益	245	158	△35.2%	△1%
USDレート (円)	121.5	107.3	△14.2	
EURレート (円)	134.2	120.1	△14.1	

事業セグメント別 売上高

**制御機器・車載・ヘルスケア事業は為替影響を除くと増収
(既存5事業は社内計画比インライン)**

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	前年同期比	(億円) 前年同期比 (為替影響除く)
制御機器事業 (IAB)	1,707	1,580	△7.4%	* +1%
電子部品事業 (EMC)	543	473	△13.0%	△3%
車載事業 (AEC)	685	634	△7.6%	+5%
社会システム事業 (SSB)	287	215	△25.2%	△25%
ヘルスケア事業 (HCB)	522	488	△6.4%	+5%
本社直轄事業 (その他事業)	368	302	△17.9%	△13%
本社他 (消去調整含む)	23	24	+12.3%	-
合計	4,135	3,716	△10.1%	△1%

* オイル&ガス事業除く +5%

事業セグメント別 営業利益

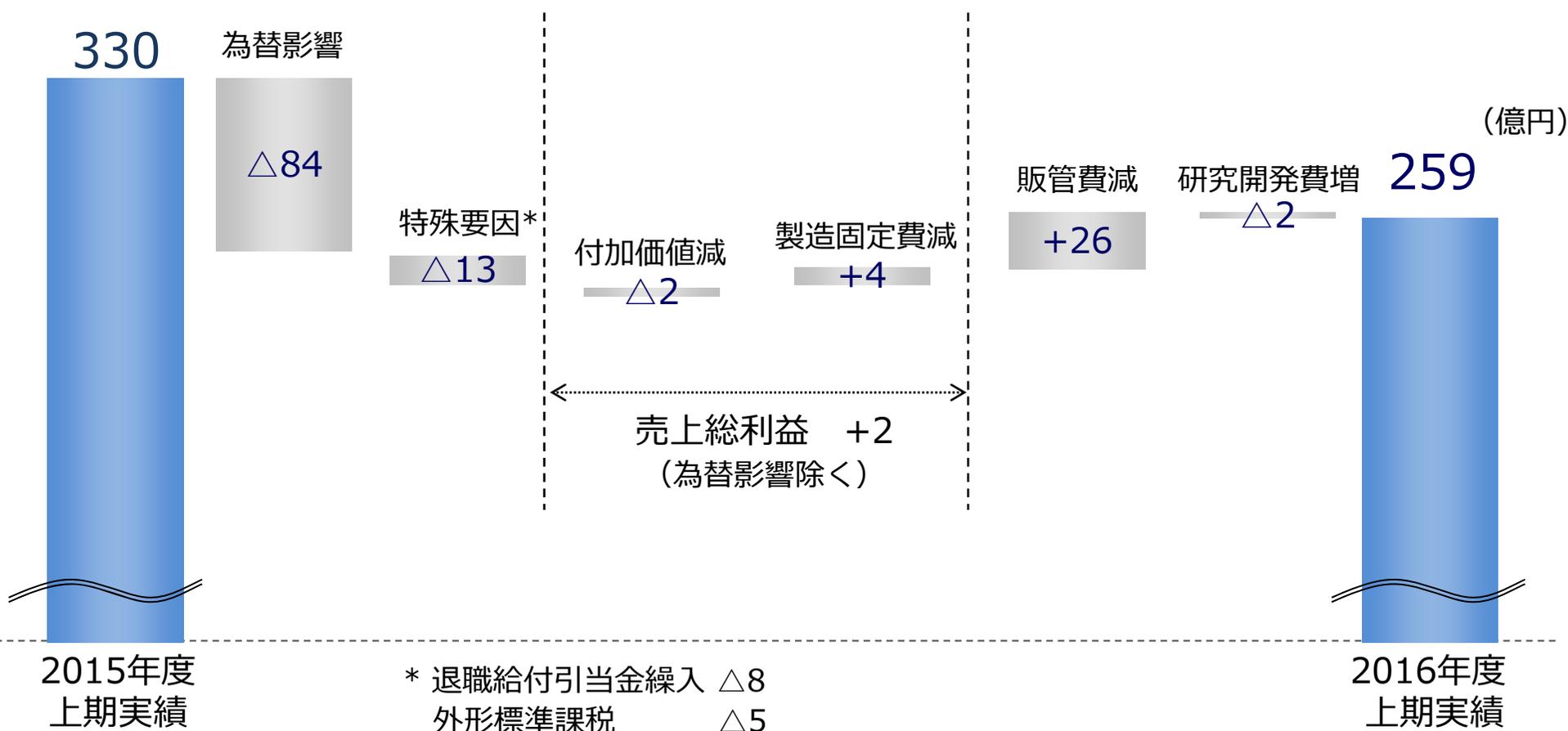
制御機器・電子部品・車載・ヘルスケア事業は為替影響を除くと増益

(億円、%：営業利益率)

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	前年同期差	前年同期比	前年同期比 (為替影響除く)
制御機器事業 (IAB)	270 (15.8%)	230 (14.6%)	△39 (△1.2P)	△15%	+4%
電子部品事業 (EMC)	49 (9.0%)	50 (10.5%)	+1 (+1.5P)	+1%	+37%
車載事業 (AEC)	31 (4.6%)	25 (3.9%)	△6 (△0.6P)	△20%	+20%
社会システム事業 (SSB)	△20 (-)	△31 (-)	△11 (-)	-	-
ヘルスケア事業 (HCB)	39 (7.5%)	47 (9.7%)	+8 (+2.2P)	+21%	+51%
本社直轄事業 (その他事業)	△1 (-)	△23 (-)	△22 (-)	-	-
本社他(消去調整含む)	△38	△39	△1	-	-
合計	330 (8.0%)	259 (7.0%)	△71 (△1.0P)	△22%	+4%

営業利益増減 (前年同期差)

売上高減少による付加価値減を付加価値率増でカバー



連結貸借対照表

円高の影響により各項目の数値が縮小しているが、BS構造に大きな変化なし

(億円)

	2016年3月末	2016年9月末	前年度末差
流動資産	3,896	3,784	△112
有形固定資産	1,466	1,217	△249
投資その他の資産	1,472	1,328	△144
資産の部合計	6,833	6,329	△504
流動負債	1,627	1,487	△140
固定負債	736	635	△102
負債の部合計	2,363	2,121	△241
株主資本	4,447	4,192	△255
非支配持分	23	15	△8
純資産の部合計	4,470	4,207	△263
負債及び純資産合計	6,833	6,329	△504
株主資本比率	65.1%	66.2%	+1.2P

制御機器事業 中国での成果

中国では現通ベースで9%増収させ、特に注力業界では24%の増収を達成

幅広い商品ラインナップ
+アプリケーションパッケージ



注力業界



- ・ 商談1件あたり採用アイテム数増加
- ・ 新規顧客数拡大

売上高・営業利益（通期見通し）

売上高・営業利益（通期見通し）



下期 エリア別事業環境認識（上期実績からの変化）

グローバル経済の不透明感が継続

＜国内＞

自動車の新車向け投資は堅調。

円高の影響により、全般的に改善投資の抑制が継続。

＜海外＞

米州 : 北米は総じて堅調継続。自動車はピークアウトの懸念あり。

欧州 : 英国のEU離脱影響の緩和を見込むが、不透明感あり。

中国 : 経済成長の鈍化が継続。

アジア : 韓国は半導体、有機EL投資が一服。

下期 事業セグメント別事業環境認識（上期実績からの変化）

制御機器事業 (I A B)	<p>国内：円高影響で改善投資の抑制が継続。自動車の新規投資は堅調。</p> <p>海外：中国は季節要因で減速するが、自動車は堅調。アジアは韓国におけるデジタル投資の上期前倒しの影響あり。米州は自動車が堅調継続。</p> <p>欧州は英国離脱影響の緩和を見込む。</p>
電子部品事業 (E M C)	<p>業民：米州は需要回復が弱く、軟調継続。</p> <p>車載：中国は環境対応車向けの市場が拡大。</p>
車載事業 (A E C)	<p>国内：軽自動車市場は軟調継続。</p> <p>海外：北米は堅調も不透明感あり。中国は3Qまでは減税効果で堅調継続。</p>
社会システム事業 (S S B)	<p>駅務：更新需要は一巡し、横ばい。</p> <p>環境：太陽光発電市場は低調継続。エネルギー使用合理化市場は堅調継続。</p>
ヘルスケア事業 (H C B)	<p>国内：オンライン市場の拡大により、堅調継続。</p> <p>海外：中国のオンライン市場は医薬品販売規制により減速。</p>
本社直轄事業 (その他事業)	<p>環境：パワコンの需要は低調継続も、蓄電システムは堅調継続。</p> <p>バックライト：中国スマホ市場の商品価格のダウントレンドが継続。</p>

通期見通し

現地通貨ベースで期初計画通りを見通すが、想定為替レートを円高に修正

※ 下期における為替レート的前提は、USD100円、EUR110円

(億円)

	2016年度 計画	2016年度 見通し	計画比	計画比 (為替影響除く)	前年度比 (為替影響除く)
売上高	8,200	7,650	△6.7%	△2%	+2%
売上総利益 (売上総利益率)	3,220 (39.3%)	2,975 (38.9%)	△7.6% (△0.4P)	△2% (±0P)	+3% (+0.7P)
営業利益 (営業利益率)	630 (7.7%)	550 (7.2%)	△12.7% (△0.5P)	+2% (+0.3P)	+16% (+1.1P)
当社株主に帰属する 当期純利益	475	400	△15.8%	△2%	+10%
USDレート (円)	110.0	103.7	△6.3		
EURレート (円)	125.0	115.0	△10.0		

事業セグメント別 売上高通期見通し

既存5事業において、現地通貨ベースで計画通りを見通す

	2016年度 計画	2016年度 見通し	計画比	計画比 (為替影響除く)	前年度比 (為替影響除く)
制御機器事業 (IAB)	3,360	3,120	△7.1%	△3%	* +3%
電子部品事業 (EMC)	1,000	930	△7.0%	△2%	+2%
車載事業 (AEC)	1,300	1,230	△5.4%	±0%	△1%
社会システム事業 (SSB)	700	700	±0%	±0%	△9%
ヘルスケア事業 (HCB)	1,080	1,000	△7.4%	△2%	* +4%
本社直轄事業 (その他事業)	710	620	△12.7%	△8%	+8%
本社他(消去調整含む)	50	50	±0%	-	-
合計	8,200	7,650	△6.7%	△2%	+2%

* オイル&ガス事業除く +6%

* 医療機器事業除く +8%

事業セグメント別 営業利益通期見通し

既存5事業は現地通貨ベースで期初計画通りを見込む

(億円、%：営業利益率)

	2016年度 計画	2016年度 見通し	計画差	計画比	計画比 (為替影響除く)	前年度比 (為替影響除く)
制御機器事業 (I A B)	465 (13.8%)	430 (13.8%)	△35 (△0.1P)	△8%	+2%	+11%
電子部品事業 (E M C)	100 (10.0%)	85 (9.1%)	△15 (△0.9P)	△15%	+4%	+48%
車載事業 (A E C)	65 (5.0%)	55 (4.5%)	△10 (△0.5P)	△15%	+3%	+7%
社会システム事業 (S S B)	40 (5.7%)	40 (5.7%)	±0 (±0P)	±0%	+2%	+28%
ヘルスケア事業 (H C B)	80 (7.4%)	80 (8.0%)	±0 (+0.6P)	±0%	+7%	+37%
本社直轄事業 (その他事業)	15 (2.1%)	△25 (-)	△40 (-)	-	-	-
本社他 (消去調整含む)	△135	△115	+20	-	-	-
合計	630 (7.7%)	550 (7.2%)	△80 (△0.5P)	△13%	+2%	+16%

營業外損益

營業外損益



営業外損益の特殊要因

事業売却益

- ・ オイル&ガス事業売却
- ・ 医療機器事業の子会社売却

株式譲渡益

- ・ 保有上場株式譲渡による退職給付信託設定

設備減損

- ・ バックライト事業の設備減損

配当

配当



1株あたり配当

期初の年間配当額予想の68円を据え置く

	中間配当 〈決定〉	期末配当 (予想)	年間配当 (予想)
今年度	34円	34円	68円
2015年度 (実績)	34円	34円	68円

制御機器事業の成長戦略

制御機器事業の成長戦略



i-Automation! によるモノづくりの革新

3つの“i”で、モノづくりを革新

コンセプト

***i*-Automation!**

オムロンユニークなInnovationによるモノづくりの革新

進化の方向性

制御進化

integrated

知能化

intelligent

人と機械の新しい協調

interactive

integrated-制御進化-

「ILOR+S」をシームレスに摺合せ、革新的なオートメーションを簡単に実現

アプリケーションパッケージ

Robot

4月に49機種発売



Input



Logic



Output



One Controller

Safety



intelligent -知能化-

現場データをAI技術で活用し、止まらない設備、不良品を作らない生産ラインを実現

生産現場

AI技術

現場データ

設備故障予知
製品不良予知

止まらない設備
不良品を作らない生産ライン

10万機種 IoT対応



i-Automation! によるモノづくりの革新

3つの“i”で、モノづくりを革新

コンセプト

***i*-Automation!**

オムロンユニークなInnovationによるモノづくりの革新

進化の方向性

制御進化

integrated

知能化

intelligent

人と機械の新しい協調

interactive

interactive -人と機械の新しい協調- 目指す世界

人とロボットが対話し、隣同士で協調する生産現場の実現

分離

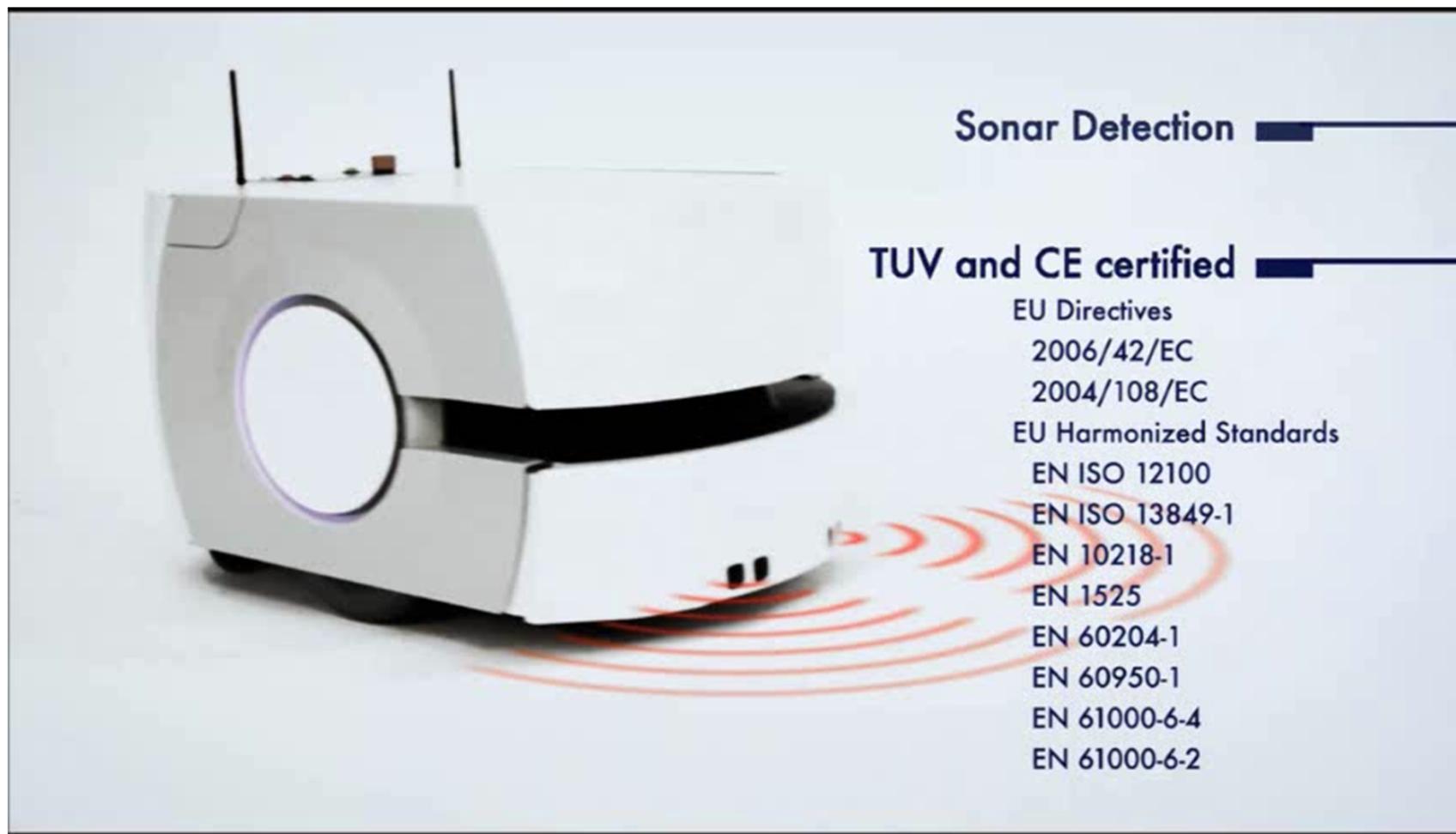


協調



interactive -人と機械の新しい協調- 目指す世界の実現に向けて①

人工知能を搭載した搬送ロボットで、コンベアレスによる柔軟なモノづくりを実現



interactive -人と機械の新しい協調- 目指す世界の実現に向けて②

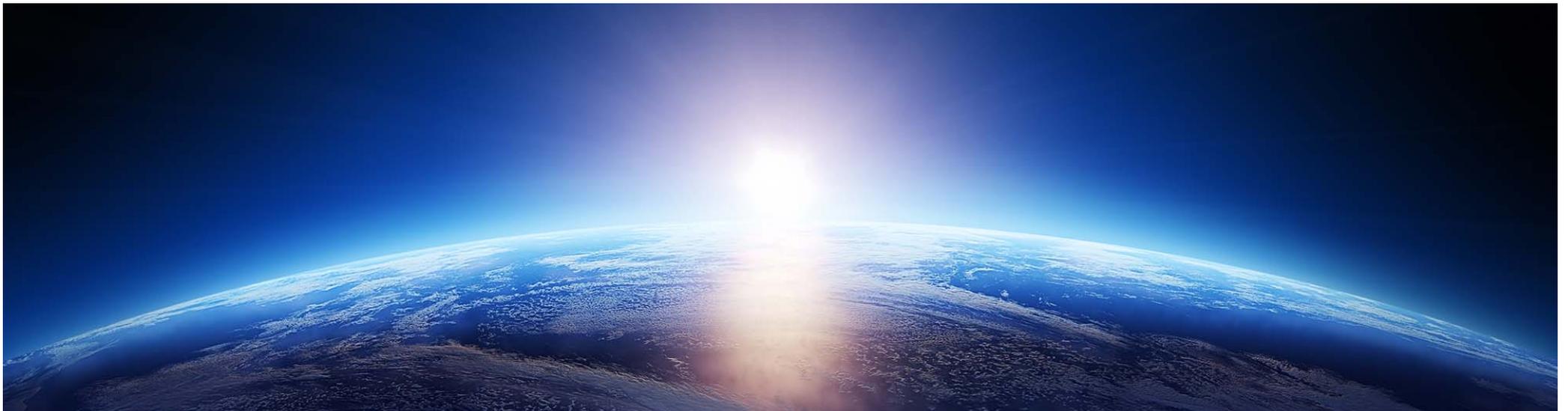
オムロンユニークなヒューマンセンシングで、人とロボットの対話を促進



OMRON

参考資料

参考資料



為替・原材料前提

為替レート、原材料価格の変動を考慮し、下期の前提を変更

■ 下期前提 (期初計画差)

為替

USD . . . 100円 (△10)

EUR . . . 110円 (△15)

1円変動による影響額 (通期)

	売上高 影響額	営業利益 影響額
USD	約35億円	約3億円
EUR	約9億円	約5億円

原材料

銀 . . . 66,000円/kg (+5,000)

銅 . . . 560円/kg (△90)

価格変動による影響額 (通期)

	変動額	営業利益 影響額
銀	1,000円/kg	約0.7億円
銅	10円/kg	約0.4億円

※ 新興国通貨等がUSD、EURに想定通り連動しなかった場合、感応度に影響を与える

ROIC逆ツリー展開

現場



KPI

注力業界/エリア 売上
 新商品/注力商品 売上
 売価コントロール
 変動費CD額・率
 失敗コスト率

一人当り生産台数
 自動化率 (省人数)

売上高人件費率

在庫月数
 不動産在庫月数
 債権/債務月数

設備回転率
 (1/N自動化率)

改善ドライバー

売上総利益率

付加価値率

製造固定費率

販管費率
 R&D率

運転資金回転率

固定資産回転率

ROS

投下
 資本
 回転率

ROIC

ROICの計算式

<連結貸借対照表>

科目	年 月末
資産の部	
流動資産	
...	
...	
有形固定資産	
...	
投資その他の資産	
...	
負債の部	
流動負債	
短期債務	
...	
...	
純資産の部	
株主資本	
...	
...	
...	
純資産の部合計	
負債及び純資産合計	

当社株主に帰属する
当期純利益

$$ROIC = \frac{\text{当社株主に帰属する当期純利益}}{\text{投下資本}}$$

投下資本 = 純資産 + 有利子負債

※投下資本は、前年度末実績および当年度の各四半期毎の実績または見通しを平均して算出

2014~2016年度における想定資本コスト : 6%

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、平成29年3月期 第2四半期決算短信のP6「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

3. 当資料は「平成29年3月期 第2四半期決算短信」に準拠し作成しています。
差額、比率については百万円単位で計算し、四捨五入しています。

<IRに関するお問い合わせ>

オムロン株式会社

グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部
経営IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp